

エコけん ニュース

No. 97 2007. 8

連絡先 NPO法人エコけん事務局

FAX 092-944-3012 (火~土 9:00~17:00)

e-mail eco_ecoken@ybb.ne.jp

発行責任者 清水佳香

http://www10.ocn.ne.jp/~ecoken/

7月活動報告




連日厳しい残暑が続いていますが、皆様、健やかでいらっしゃいますか？

7月のエコけんでは、三井物産環境基金 2007年度第1回助成団体に選ばれたので、さっそくそのプロジェクト会議が始まりました。それが「しろくま会議」です。どのようなものに仕上がるかは乞うご期待！ほかにも、連携教室や大学への出前など、いつものことながら大忙しでした。

エコロの森では、エコロまつり説明会、小学校の来館、アーティスト展覧会そして恒例の夏休み教室と、この時期は息つく暇もありません。特に夏休み教室の予約受付日には、朝から鳴りっぱなしの電話対応に追われ、うれしい悲鳴を上げました。

涼しい風が待ち遠しい今日この頃、皆様もにぎやかなエコロの森へどうぞ遊びにおいでください。

日	自主事業	受託事業 (エコステ活動)
2	 あつ~い、夏！ 私達も熱いです！	エコまつり説明会
3		エコ環境教室《小学校》
4		エコ環境教室《小学校》 ピンゴ研究会
5		しろくま会議 エコ環境教室《小学校》 商品開発活動
6	福津市環境リダ-養成講座講師	
9		教室会議 ボラ育成会議 展示会議 運営会議
10	出前講座(北九州大学)	ボラ会(エコクッキング)
11	連携教室(福岡小)しろくま会議	エコエコクッキング(託児あり)
12		展覧会
17		夏休み教室受付開始
18		エコロなウォッシュアップ ベトナムキャバイン香粧店へ購入
19	しろくま会議	
20	ニュースレター27号配信	
24		工場見学(バックヤード付き) 夏休み教室
25		子どもエコエコクッキング
26		紙すき
27	エコけんニュース95号発行	ほたけと蛸 新 ペットロケット かえっこショップ おもちゃの病院
28		自然観察 エコロ工作
30	福津市環境リダ-養成講座参加	
31		エコロ工作(万華鏡) ボラ会(子どもエコクッキング) TNC取材・撮影

お店も会社もいっしょにエコロ

最近、レジ袋が破けやすくなったような気がしませんか？
1つだけ買った時、お店の人から「シールでよろしいですか？」と聞かれたことありませんか？



その背景のひとつに『容器包装リサイクル法』があります。これは、『家庭ごみの約6割を占めるに至った容器包装を減らすために、「市民」「自治体」「事業者」が力を合わせよう！』と作られた法律です。

2000年に完全施行されて以来、私たちはプラスチック製容器包装をはじめとする種々の分別品と格闘してきました。一方で、容器包装の使用量に応じた費用を負担することになった事業者は、使用量削減や技術開発のために、様々なセクションとの協働に取り組んでいます。

- ① 使用量の削減（容器包装の役割を損なわない範囲での）
薄肉化・簡易包装化・空間容積の縮小・詰め替え・洗剤等の濃縮 etc
- ② 技術開発
易リサイクル化・特性を生かした複合材の開発・再商品化の促進 etc

どれくらいの効果があったのか調べてみると、少しずつですが着実な効果がみえてきてうれしくなりました。

セブンイレブン1店舗当たりのレジ袋使用量 2000年 1.43t → 2005年 1.07t

石鹸・洗剤工業会 プラスチックの使用総量 1995年 72,100t → 2003年 55,700t
(洗剤や漂白剤の容器包装材)



わたしたちもお店も会社も、そして自治体も「いっしょにエコロ」しているんですね。再商品化などの点でまだまだたくさんの課題があるそうですが、力を合わせればひとつずつ解決していけそうだと感じました。

参考サイト：<http://www.env.go.jp/recycle/yoki/outline/index.html>（環境省）

<http://www.pprc.gr.jp/>（プラスチック容器包装リサイクル推進協議会）

http://www.meti.go.jp/policy/recycle/main/admin_info/committee/d/33/your33_ap17.pdf（経産省）

<http://www.sej.co.jp/torikumi/reduce/bag.html>（セブンイレブン）

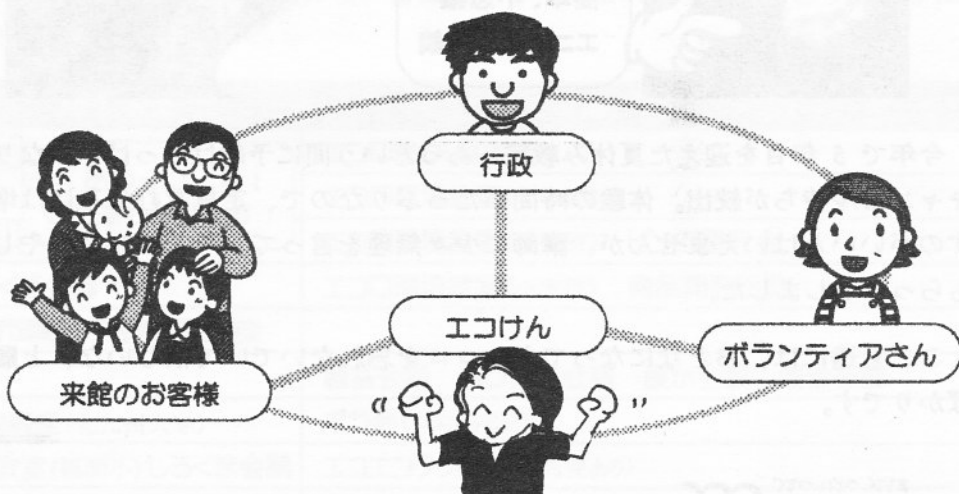
エコけんニュース もうすぐ100号に! (VII)

～関係をつなぐ～

プラスチックの回収や、ニュースを発行など、内容は何にしる、何かをし続けようとするまわりとの関係を紡ぐこと無しに事業継続はできません。また、その関係は「対等（双方向的）」でないとだれかが、だんだん苦しくなってきます。



2003年4月から、エコロの森の再生・展示棟の運営に関わることになった時、依頼側である行政とも、施設来館のお客様とも、運営をサポートしてくれるボランティアさんともそうありたいと思いました。互いが伝え合い、納得した上で自分の立場や役割を果たしながら新しい関係を紡げれば、みんなが、気持ちよく続けていけるのでは、と思ったのです。



これも、ニュースを発行していく中で、伝えたいことを誠意をもって有り体に伝え、「信用・信頼」が生まれ得ることを感じてきたからだと思います。



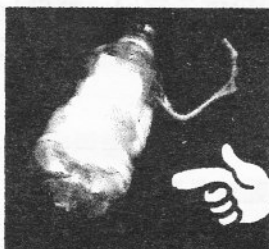
エコロの森の再生・展示棟では、開館と同時に「ほっとちゃっと」という館内広報紙も毎月発行し始めました。エコけんニュースが『活動報告+環境情報』であるのに対し、「ほっとちゃっと」は『活動予定+環境情報』という内容になっています。同じ広報紙でも、担う役目が違うんだなと改めて感じました。

「夏休み教室」

エコロの森の広報教室は、主な目的を次の4つに分けて考え、教室を配分します。

- ①イメージの転換 ②情報化 ③行動化 ④活動化

①については、ずいぶん定着してきたので、年間計画では大幅に減らしたのですが、なんとと言っても夏休み教室は、子ども達にとってのお楽しみ。新しいエコロ工作教室も用意しました。それは、エコロ万華鏡、拓本アートなどです。いずれも好評で、定例化しそうな勢いです。



とっても
きれい。
簡単、不思議
エコロな万華鏡



▲わーきれい

今年で5年目を迎えた夏休み教室。あっという間に予約はいっぱいになり、キャンセル待ちが続出。体験の時間がたっぷりなので、定員をむやみには増やすのがいいとはいえませんが、講師に少々無理を言って、ちょっぴり増やしてもらったりしました。

子ども達には、おとなになってもエコロを忘れないでいて欲しいな、と願うばかりです。



まなび つどい つなぐ
エコロの森 再生・展示棟
ecolo no mori station

◆◆◆◆ 古賀清掃工場 再生・展示棟 ◆◆◆◆

☎ 811-3121 古賀市筵内1970-1 ☎ 電話 092-942-1530 内線 (701)

☎ FAX 092-942-1532 ✉ メール ecosta@ecolo-no-mori.com

～事務局より～

- ❖ 8月17日(金) TNC福岡放送局「ニジゴジ」にエコけん代表が「エコマイスター」として登場。エコロの森や体験機器を紹介しました。
- ❖ エコけんニュースは、古賀市市制施行10周年記念事業 プロジェクト「わ」に参加協力します。